

アジルサルタン OD 錠 40mg 「DSEP」の 溶出性に関する資料

第一三共エスファ株式会社

(1)溶出規格

試験方法：

試験条件			溶出規格	
試験液	方法	回転数	規定時間	溶出率
日本薬局方 溶出試験第2液 (900mL)	パドル法	50rpm	15分	80%以上

結果：

アジルサルタン OD 錠 40mg「DSEP」は、設定された溶出規格に適合していることが確認されている。

(2)溶出挙動における類似性

「剤形が異なる製剤の追加のための生物学的同等性試験ガイドライン」(令和2年3月19日 薬生薬審発0319第1号)に従い、溶出試験を実施した。

試験概要

試験方法	日本薬局方 一般試験法 溶出試験法 (パドル法)	
試験回数	12 ベッセル	
検体	試験製剤 (アジルサルタン OD 錠 40mg 「DSEP」) 標準製剤 (アジルバ錠 40mg)	
試験液量	900mL	
試験液の温度	37±0.5℃	
試験液	pH1.2	日本薬局方溶出試験第1液
	pH5.0	薄めた McIlvaine の緩衝液
	pH6.8	日本薬局方溶出試験第2液
	水	日本薬局方精製水
回転数	50rpm (pH1.2、pH5.0、pH6.8、水)	
判定基準	「剤形が異なる製剤の追加のための生物学的同等性試験ガイドライン」(令和2年3月19日 薬生薬審発0319第1号)の判定基準に従う。	

結果

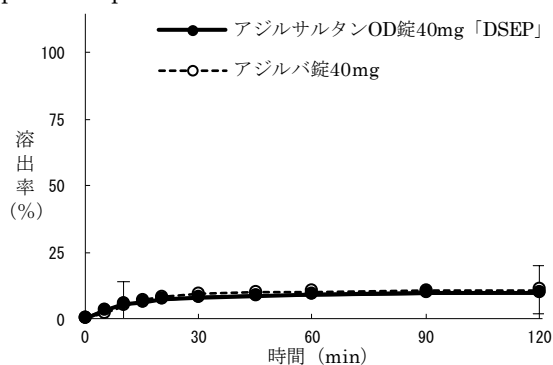
すべての試験条件において、「剤形が異なる製剤の追加のための生物学的同等性試験ガイドライン」(令和2年3月19日 薬生薬審発0319第1号)の判定基準に適合することが確認され、アジルサルタン OD 錠 40mg「DSEP」と標準製剤(アジルバ錠 40mg)の溶出挙動は類似していると判定された。

平均溶出率における判定結果

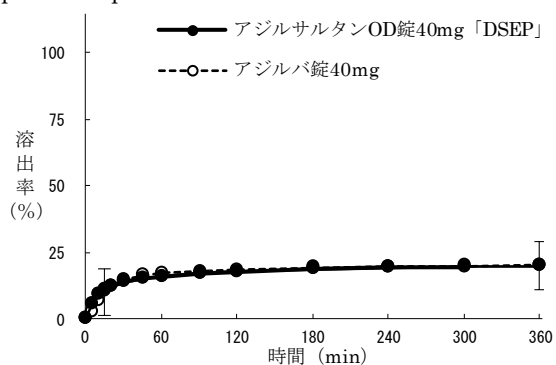
試験条件		採取時間 (分)	平均溶出率 (%)			f2 関数の値	判定基準 ^{*1}	判定			
			アジルサルタン OD錠 40mg 「DSEP」	アジルバ錠 40mg	差 (絶対値)						
50rpm	pH1.2	10	5.1	4.6	0.5	/	平均溶出率差が±9% 又は f2 ≥ 53	適			
		120	9.8	10.6	0.8						
	pH5.0	15	10.6	9.9	0.7				/	平均溶出率差が±15% 又は f2 ≥ 42	適
		360	19.7	19.9	0.2						
	pH6.8	15	96.4	75.3		46	平均溶出率差が±15% 又は f2 ≥ 42	適			
		30	97.7	96.4							
		45	98.2	97.9							
	水	10	14.7	11.4	3.3	/	平均溶出率差が±9% 又は f2 ≥ 53	適			
360		22.1	21.1	1.0							

溶出曲線

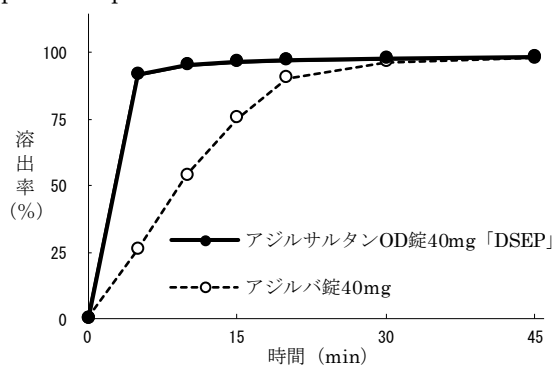
pH1.2/50rpm



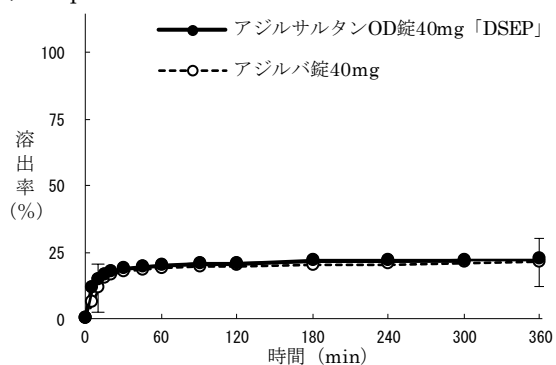
pH5.0/50rpm



pH6.8/50rpm



水/50rpm



[f2 = 46]

: 判定基準の適合範囲
 [] : 判定に用いた f2 関数の値

※1 本試験の平均溶出率における判定基準

回転数	試験液	標準製剤の平均溶出率	判定基準
50rpm	pH1.2	標準製剤が 30 分以内に平均 85%以上溶出しない場合	規定された試験時間において、標準製剤の平均溶出率が 50%に達しないとき、標準製剤が規定された試験時間における平均溶出率の 1/2 の平均溶出率を示す適当な時点、及び規定された試験時間において、試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±9%の範囲にあるか、又は f2 関数の値が 53 以上である。
	pH5.0		
	pH6.8	標準製剤が 15～30 分に平均 85%以上溶出する場合	標準製剤の平均溶出率が60%及び85%付近となる適当な2時点において、試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあるか、又は f2 関数の値が 42 以上である。
	水	標準製剤が 30 分以内に平均 85%以上溶出しない場合	規定された試験時間において、標準製剤の平均溶出率が 50%に達しないとき、標準製剤が規定された試験時間における平均溶出率の 1/2 の平均溶出率を示す適当な時点、及び規定された試験時間において、試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±9%の範囲にあるか、又は f2 関数の値が 53 以上である。